

<タイプ1>

- ・ダイナミックな思想を持った後藤新平を尊敬する。
- ・後藤新平の魅力・思い切って行動することが大事。
- ・今の日本は構想力が大事。
- ・板垣退助がなぜ銃で射殺されたのか気になる。
- ・興味が湧いたので、後藤新平について調べてみる。
- ・人間の持つ「思い」が何か大きな事を成し遂げることに繋がるとすれば、強い「思い」を持つことが必要だと思った。
- ・徳川光圀は日本の史記を創るという新しい事業を始めることで、その分野が続いていった。新しいことを始める重要性を知った。嘉納治五郎は柔術を柔道に変化させた。心技体を磨く良い方向に向けることで違うものとなり世界に認められるようになっていった。構想力があったからだ。
- ・レポートは嘉納治五郎にする。
- ・松下幸之助の言葉に感動した。レポートはサッカー選手の遠藤保仁さんを書きたい。
- ・徳川光圀がいなければ今の日本史がなかったと思うとただただ凄いと感じた。
- ・坂本龍馬と同じ誕生日なので坂本龍馬にしたい。

<タイプ3>

- ・後藤新平のリサーチ・人事を重要視するやり方は参考にしたい。
- ・後藤新平の「カネを残す、、」の言葉から、価値観は人それぞれなので私はカネと人を両方とも取りに行きたいと思った。嘉納治五郎の「人に勝つより自分に勝ちなさい」から同じ目標のライバルを作ろうと思った。自分の構想を持ちつつ人の構想を受け入れることが大事なのではないかと思った。

<タイプ4>

- ・嘉納治五郎が言っていたように、自分に勝てるように精進したい。
- ・有能な人は有能な人を見抜くことができる。
- ・水戸黄門の話は自分の為になった。
- ・徳川光圀は日本の将来のことを考えていたのだと思った。人のために生きていた人だと理解できた。
- ・事業構想とは一個人のマネジメントも含まれていた事は、考えさせられた。
- ・徳川光圀は革命的な人物。選ぼうと思う。

<タイプ2>

- ・レポートは女性にしたい。
- ・隅田川の橋の形や色が全部違うのは驚いた。
- ・ドラマの「水戸黄門」のモデルがいたのだなと感じた。フィクションだと思っていた。
- ・徳川光圀の「誕生日は最も粗末な食事でもいい。この日こそ、母を最も苦しめた日なのだから」私も誕生日は一番母に感謝しなければならない日だと思う。
- ・松下幸之助「第一の経営哲学、経営理念が確立できれば、まず50点で、半分成功したのと一緒」悩んだり腹を立てたり悲観したりすることが社長の仕事である、ということがとてもいい言葉だと強く感じた。
- ・水戸黄門はTVとは違い、行っていることを知った。とても素晴らしい人生だった。
- ・いろいろな人の構想力を知れた。
- ・後藤新平の言葉から、お金よりも人を大事にしていきたい。
- ・徳川光圀の人生こそが事業構想である。
- ・嘉納治五郎さんの「人に勝つより自分に勝ちなさい」その通りだと思った。レポートを書く人は、偉大な人物ではないが尊敬している人でも良いですか？
- ・人それぞれ違う構想があるので、自分も見つけられるようにしたい。
- ・光圀の学問に対する姿勢は凄い。昔の事を学び今に生かしていくのは良いことだと感じた。
- ・後藤新平の話が面白かった。徳川光圀は250年もかかって完成したのはすごい。
- ・人の大切さを知れた。いくらお金があっても使う人間がいなければ意味がない。人間を残していかなければいけないと思う。
- ・父が教師で柔道の顧問。講義は印象に残った。
- ・人生は事業構想であることを学んだ。

<タイプ8>

- ・喜ばない母親はいないのではないかと考える。だから家族と美味しい食事をとって祝うべきだ。
- ・YouTubeの画面は大画面で映して欲しい。
- ・水戸の話が面白いと思った。TVが好きだった。
- ・嘉納治五郎が印象に残った。

<タイプ5>

- ・水戸黄門に興味を持った。自分が亡くなる後も完成しない大きな事に挑む意思を持つことが素晴らしい。
- ・私も人生は「人、事業、金」だと思っているので、後藤新平について詳しく調べてみたい。
- ・偉人たちの姿や歴史を大画面で見ることができて面白い。残した言葉は生き方の参考になった。
- ・興味のあることに真っ直ぐに向かえる力が凄い。
- ・時代劇の「水戸黄門」は、実際その生き様がとても素晴らしいものだった。
- ・「人のお世話にならぬよう、お世話をするよう、報いを求めぬよう」理解はできるが実行することが難しい。だからこそ美しい。
- ・人づくりこそ価値が高い。
- ・嘉納治五郎「人に勝つより、自分に勝ちなさい」自分が目標を立てる時に心がけている事だったので目に留まった。
- ・スポーツは勝負だがまずは自分に勝つことに専念しろという考えはとても素晴らしい。
- ・先生が一番心が動かされた言葉は何ですか？
- ・後藤新平は医者でありながら都市化構想力を持っていて凄い、職以外に問題点を発見できることは重要だと分かった。
- ・水戸黄門に少し興味を持った。エニアグラムは毎回考えさせられてとても楽しい。

<タイプ7>

- ・調べたい人物が多くなった。映画の偉人を知りたい。
- ・人材発掘と育成は未来を左右する大事なこと。後藤新平の言葉には人を大事にという意味がある。
- ・嘉納治五郎にする。
- ・嘉納治五郎の名言は必要な考えだと思った。教育者がこういった考えを持つことは素晴らしいと思う。レポートを書く人は講義内で紹介された人物だけなのか？
- ・織田信長を選んだ。
- ・広い意味で教育、人材の発掘と育成を重視する。私も人が一番重要だと思う。
- ・構想力の欠如が日本の駄目なところだと思った。

<タイプ6>

・一から事業を始める場合はなるべく大きく構想しようと後藤新平の話を聞いて考えた。目先のことだけに目を向けるのではなく、全体を俯瞰し、きちんとした調査を行い、問題に合ったモデルを作ることが、問題解決、人生に必要なのだと感じた。

・徳川光圀の誕生日は最も母を苦しめた日という言葉に驚いた。神秘的な日でもあると思う。人間感性が十人十色。

・後藤新平の名言をみると“人”を優先して考えている人物だと良く分かった。

・「構想」とは、何か大きな物事を考えていくことであると知れた。坂本龍馬を取り上げて欲しい。

・後藤新平について調べたい。

・都市開発関連の話を他にも聞きたい。

・過去の偉人達がたくさん歴史書を作成してくれたお陰で現在の日本・世界が成り立っていると実感した。後世に託したり先人に託されたりすることはとても大切なことである。人生＝事業構想 諸葛孔明を取り上げたい。

・当時の石原都知事、猪瀬副都知事が絶賛しているので、後藤新平は今に生きていると思う。

・嘉納治五郎「人に勝つより自分に勝ちなさい」という言葉に共感を得た。

・250年も作られ続けた歴史書を作り始めた徳川光圀はよほどの思いがあったのだと思った。

・デールカーネギーの言葉が良いと思った。

・ピタゴラス、レオナルド・フィボナッチ、ピエールド・フェルマー、ブレース・パスカル、アイザック・ニュートン、オーガスタス・ド・モルガンの中から決めたい。「心」が綺麗な人だからだと思った。

・後藤新平の「カネを残すのは下、事業を残すのは中、人を残すのは上」という名言が良かった。人を残すのが大切なことに納得した。

・ルートヴィヒ・ウィトゲンシュタインにする。

・「一日教養、一日休養」が印象に残った。野口英世を書く。「金言」を探したい。

・山本五十六にした。

・徳川光圀は未来を見据えていて素晴らしいと思った。

・リレー講座について、ワークライフミックスではなくライフデザインにしていくべきだと思った。既に人生の中に仕事が入っており、ミックスされているので、これからはその人生と仕事にプラスして自らデザインすることが大切だと考えた。後藤新平に関しては「震災復興」が現在まで語り継がれる程の大功績であると思う。嘉納治五郎の話は分かりやすかった。

<タイプ9>

・水戸黄門のビデオが印象に残った。

・後藤さんの動画を見て、建設した小学校が元の形で残っていて歴史を感じた。

・事業構想という言葉を実践していく中で後藤新平は学ぶべきことが多い人だと感じた。

・後藤新平のように事業構想を貫いていきたいと思った。

・後藤新平の言葉が心に響いた。今までよく知らなかった構想のことを知れたので良かった。

・自分の目標に徳仁を見つけることによって大きく成長できると思う。

・後藤新平の名言はカッコよいものばかりだった。誰を調べるかも少し考える。

・私は杉原千畝を調べていきたい。

・有名ではない人を紹介してほしい。

・猫の絵は教授の特徴を上手く捉えていて名前を見なくても誰か分かって面白かった。

・目標を「人」にするか「業」にするかは人それぞれだと思う。自分も目標を大きく、それを達成できるようにしたい。

・後藤新平の「金より人」に感銘を受けた。

・日本の梅屋庄吉さんは、孫中山(孫文)が生前最も重要な国際友人の一人。

・物事を構築し、創造できるようにになりたい。自ら構想したものを、社会に飛び立たせたいと思った。

・嘉納治五郎の言葉より、人に勝つより先ず自分自身について考え、それに打ち勝つようにすべきだと感じた。自分に自信を持つようになりたい。

・人造りこそ、最も価値が高い。

・私も偉人になります。

・そろそろ授業でも戦国武将(鳥居元忠など)を取り上げて欲しい。

・学歴ではなく個人を問われる時代ならば、私達にとって望みになるので将来に期待していこうと思った。

<タイプ?>

・良い言葉が凄い。映像、話を聞くと見習うことが沢山ある。

・吉田松陰に興味がある。

・「朝廷に対し弓を引くことあるべからず」という家訓も曆書の影響あってのものなのかと感じた。

・志・信念が強い人ほど未来に向けてスタートができ、成功者になれると思った。私も2年後就職したら一生懸命に取り組み頑張っていきたいと思った。

・後藤新平は明治の生んだ大事業構想家で偉大なプロジェクトデザイナーで国家のビジネスモデルをいくつも作った。内村鑑三は「金、事業、思想、さもなくば、高尚なる人生」と言ったが、後藤は、人、事業、金という順番を示した。それはとても人を大切に考える考え方だと思った。

・嘉納治五郎「人に勝つより、自分に勝ちなさい」自分が成功すれば同時に他人の成功をも助け、その満足を得るのである。そのような教育はとても良いことだと思った。

・後藤新平は、優秀で人柄も良く成功する人の成功例だと思った。

・今の日本史がここまでしっかりとしたものになっているのは光圀のような先人あってのものだと思う。まだ誰もやり遂げてないことに挑戦していく姿は参考にしたい。事業構想の本当の意味を今日の講義で知った。

・嘉納治五郎の、柔道を心と身体を鍛えるために世界に広めた所、がすごい。

・後藤新平の多才さが凄い。様々な経験を得から自由な考えやアイデアや構想力を見いだせることが出来ると思った。

・誕生日は、産んでくれてありがとうと感謝する日の方が良いと思う。

・人が他人から認められて感情を返事して、人は人になれると思う。